

エネルギー政策と石炭 Energy Policy and Coal

「エネルギー基本計画(2021年10月) Strategic Energy Plan (Oct. 2021)

令和3年10月、「第6次エネルギー基本計画」が閣議決定された。この基本計画は、気候変動問題への対応と日本のエネルギー需給構造の抱える課題の克服という二つの大きな視点を踏まえて策定するとしている。

- 気候変動問題への対応として「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言するとともに、2021年4月には、2030年度の新たな温室効果ガス排出削減目標として、2013年度から46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続ける。
- S+3Eを大前提に、2030年度の新たな削減目標や2050年カーボンニュートラルという野心的な目標の実現を目指し、あらゆる可能性を排除せず、使える技術は全て使うとの発想に立つことが今後のエネルギー政策の基本戦略となる。

エネルギー政策の基本原則“3E+S” Basic Viewpoint of Japan's energy policy

安定供給 (Energy Security)

- 自給率向上(再生エネルギーの利用など)
Improvement of energy self sufficiency
- 多様なエネルギーの利用(特定のエネルギーに頼らない)
Diversification of energy sources
- 供給源の多様化(特定の国や地域に頼らない)
Diversification of energy supply sources

経済性 (Economic Efficiency)

- 安価なエネルギーの利用(石炭など)
Usage of Low-cost energy (such as Coal)
- エネルギー効率の向上
Energy efficiency improvement

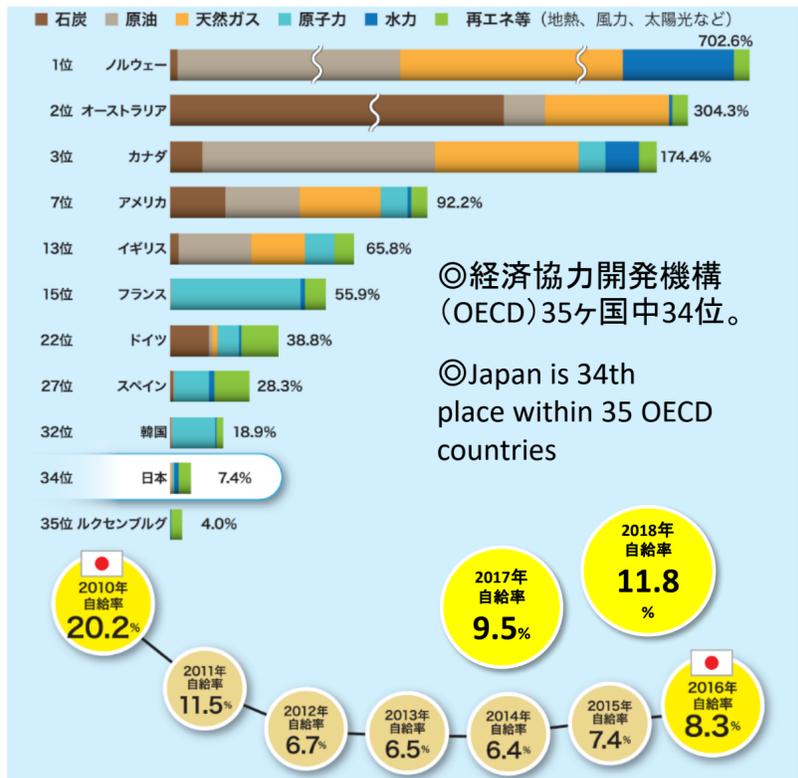
環境 (Environment)

- 再生エネルギーの利用拡大
Expansion of renewable usage
- 火力発電の効率化
Efficiency improvement in Thermal Power Generation
- 省エネ Energy Conservation

(出典:資源エネルギー庁資料に基づきJCOAL作成)

日本のエネルギー自給率 Japan's energy self sufficiency

主要国の一次エネルギー自給率比較 (2015年)

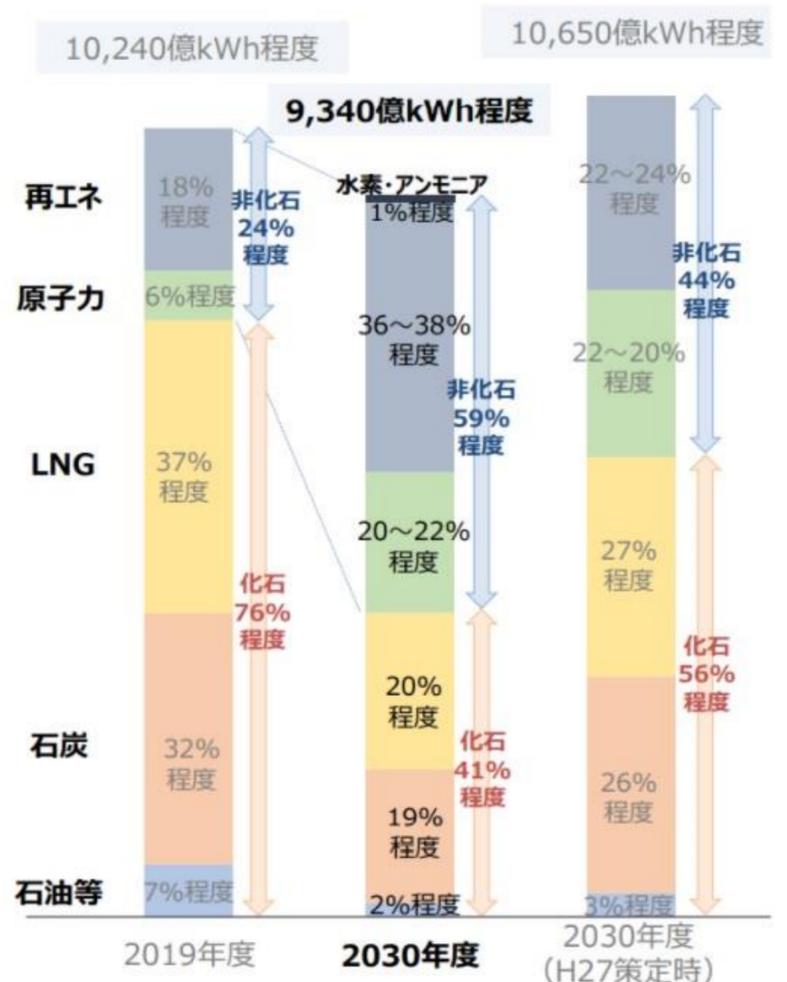


(出典:資源エネルギー庁資料)

◎日本ではエネルギー資源のほとんどを海外から輸入している

◎In Japan, most of energy resources are imported from overseas

2030年の電源構成の見通し Outlook for Japan's energy mix in 2030



(出典:資源エネルギー庁資料)